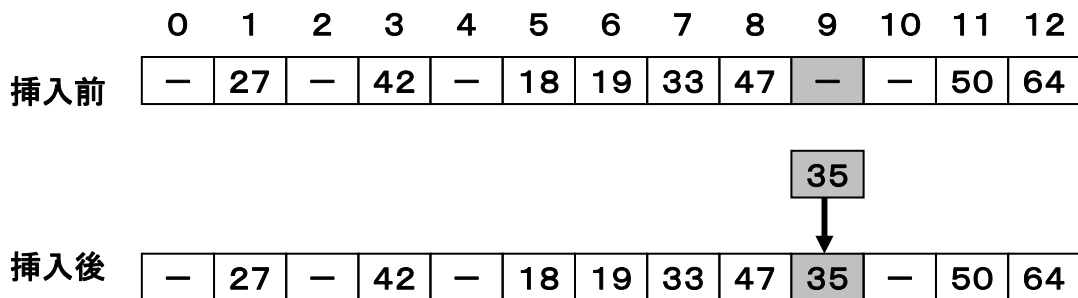


図 4-6 ハッシュ値による格納位置

(2) キーの衝突

例えば、キー値 35(13 の剰余 = 9) を挿入することを考えてみましょう。



しかし、キー値 32(13 の剰余 = 6) を挿入しようとするとき、以下のようになり、既にキー値が埋まっていますので、挿入することができません。これを**キーの衝突**といいます。

